

シスター・サラ

本当に一人で大丈夫ですか

神父様!



ご心配には及びません

二日で戻りますので

私はサラ
この教会でシスターとして暮らしています

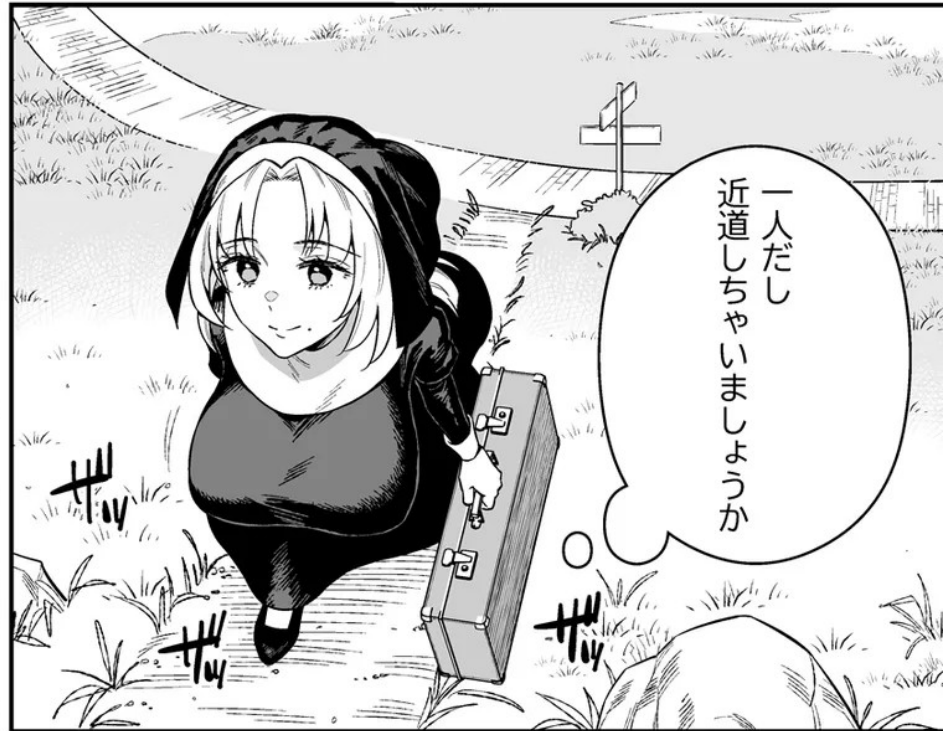
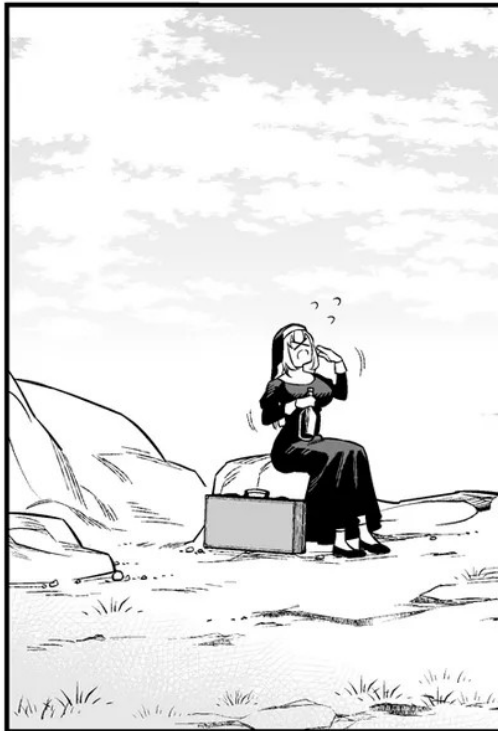
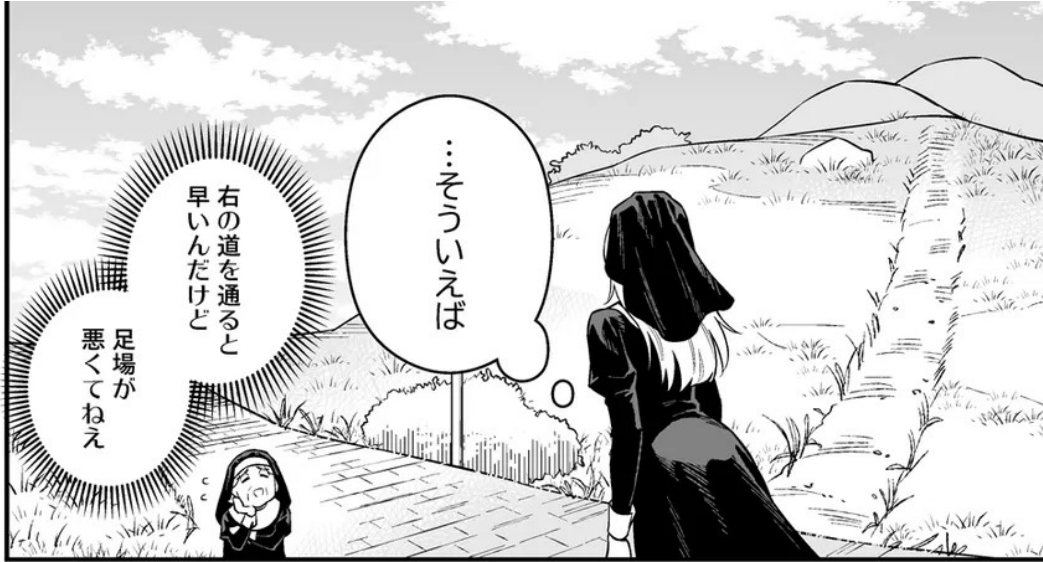
以前は他のシスターと一緒にいたが足を悪くされてしまい

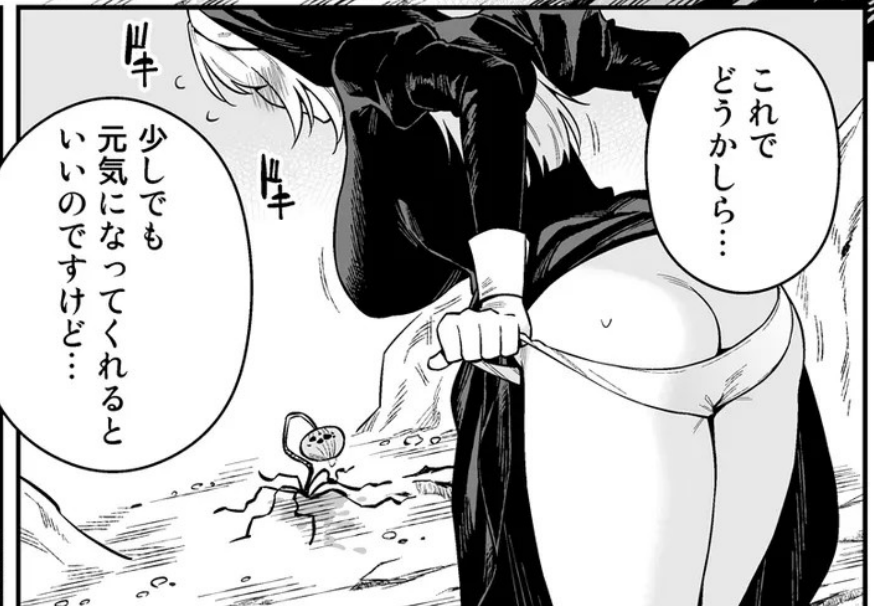
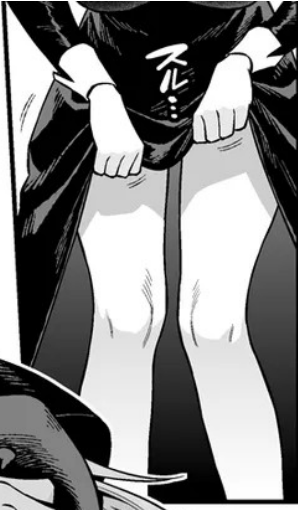
初めて一人で伺うことになりました

今日は隣村の子供たちに勉強を教えに行く日です

膝がねえ どうにもねえ



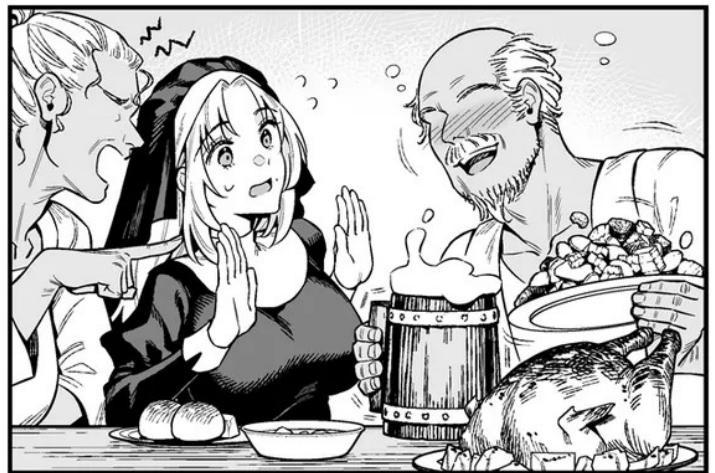
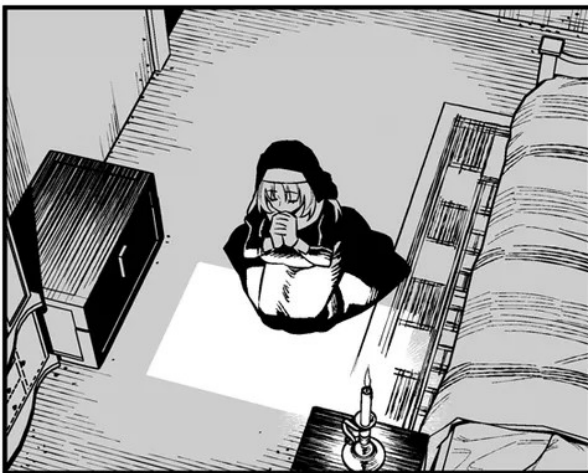




これで
どうかしら...

少しでも
元気になってくれると
いいんですけど...







まあ！
ずいぶん
大きくなって



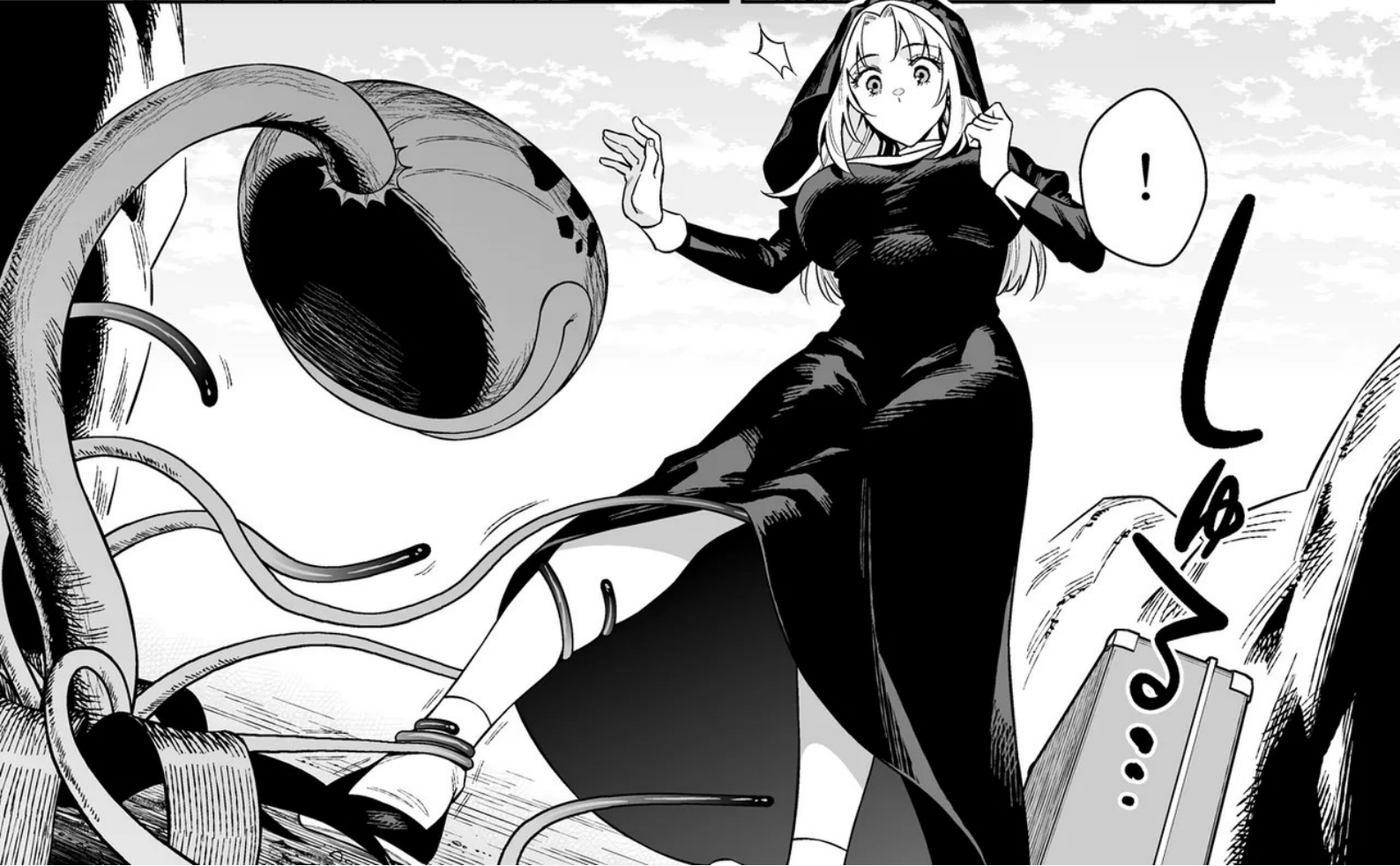
私と
したことが
水分が必要とは言え
はしたない真似を
してしまいました…



変わった
模様…
あなたのことは
“まだらちゃん”と
呼びましょう



この辺りでは
見たことのない
種類の生き物ですね



！



私
水を持って
きました

待って
くださいー！



み水じゃ
だめなんですか…？

そんな…

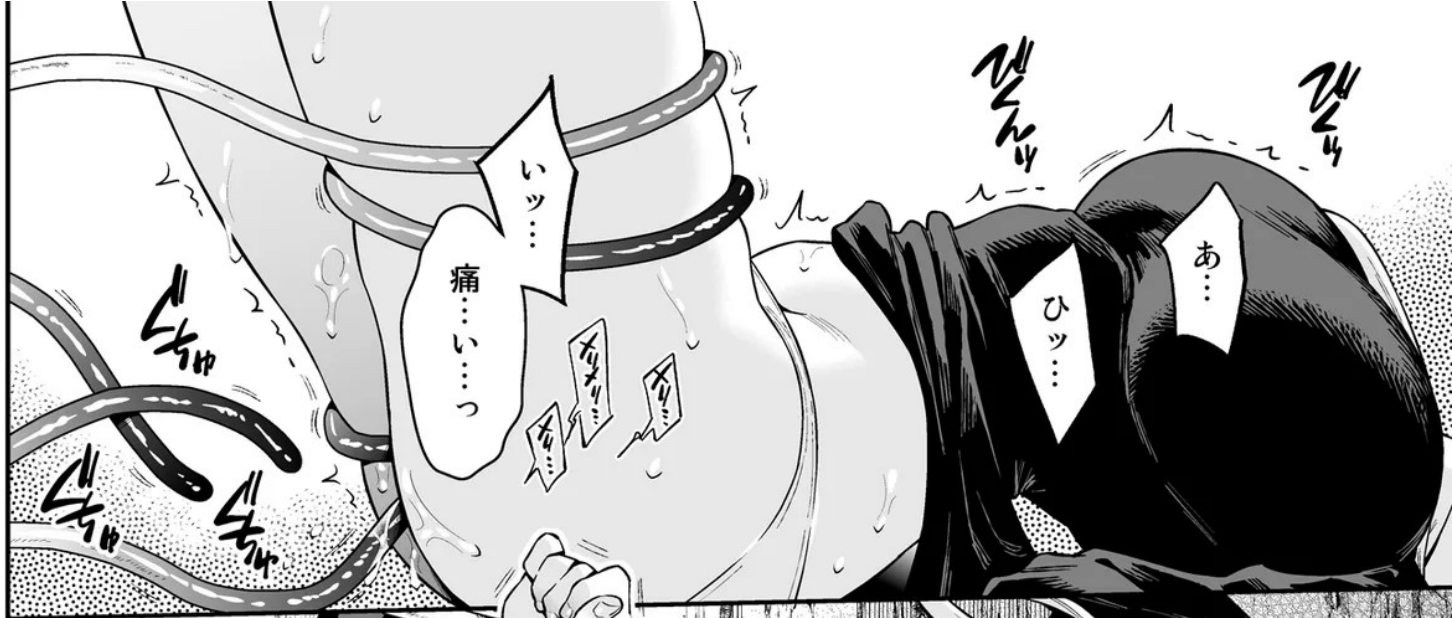
んんんん…

んんんん…

んんんん…

んんんん…







ああ…神よ…

わたしは…

このまま
死ぬのでしょうか…



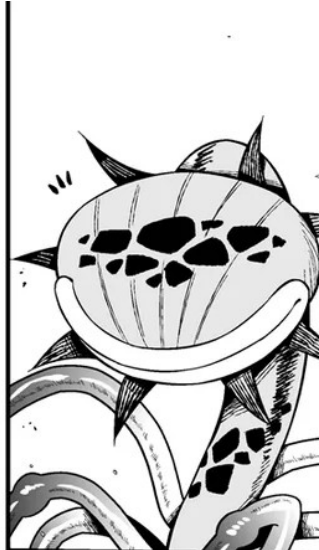
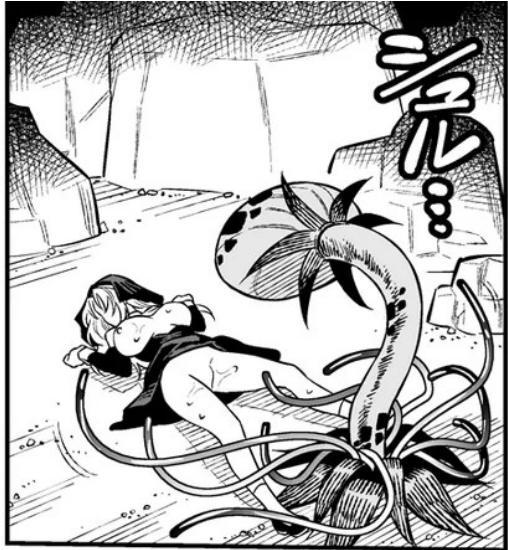
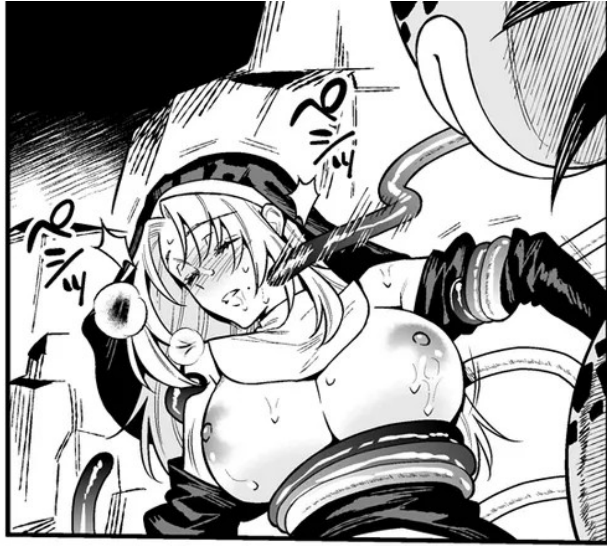
力が…

入らない…

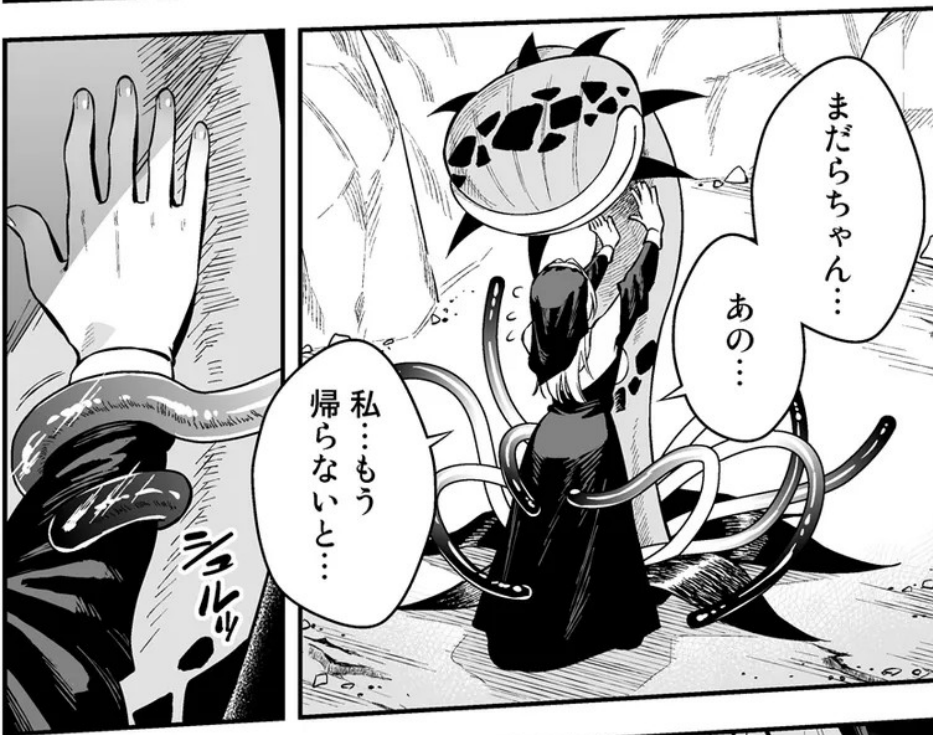


もう…

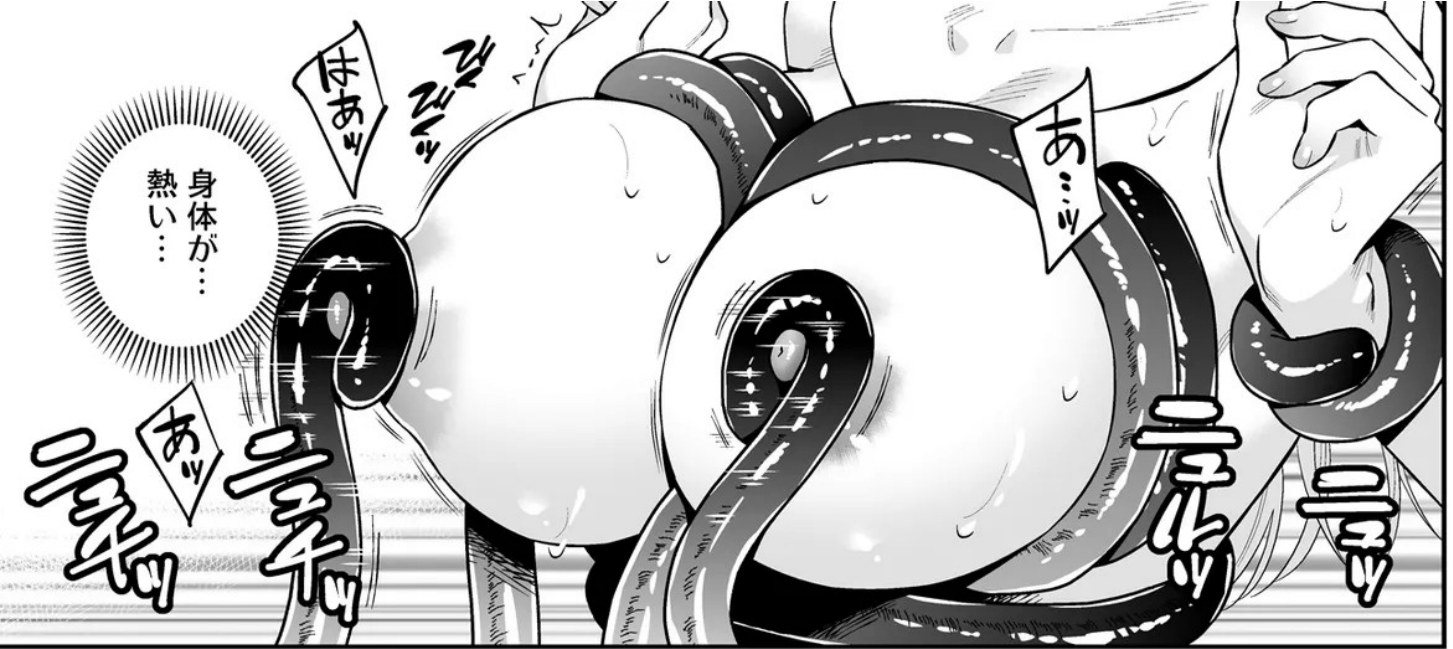
目も開けて
いられないほど…













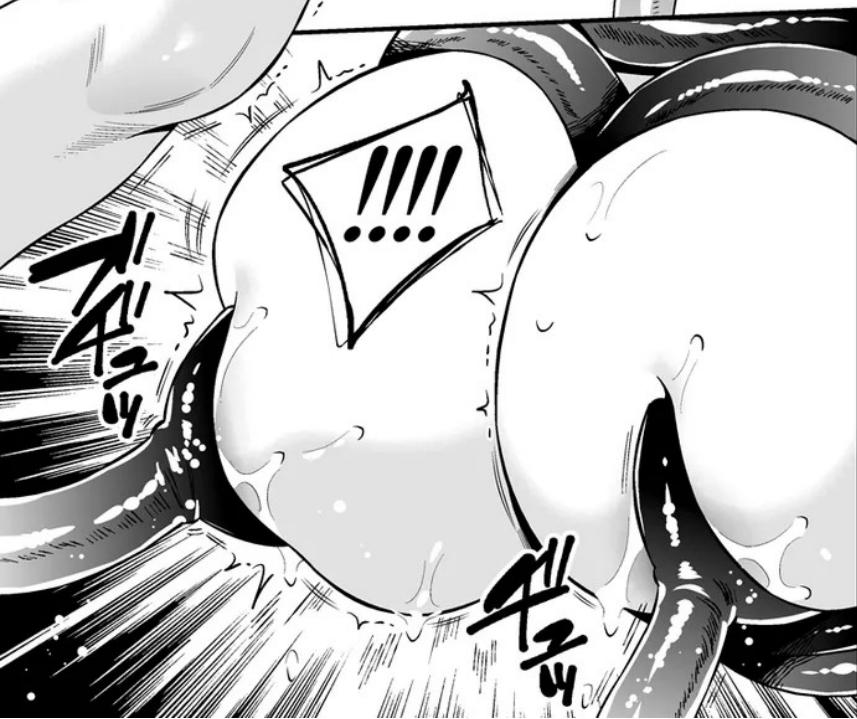
ズッ...

ズッ...

ズッ...

ズッ...

ズッ...



!!!



え...!?

なぜ...!?

私の身体
どうなって...



すっ…
吸われてる…ッ

ああッ

グワッ



私のお乳が…
まだらちゃんに…ッ

グワッ…

あ…ッ

グワッ…

あ…ッ

あ…ッ



ッ…なに…
この感覚…

私そのものが…
流れ出ていく
みたい…ッ

グワッ…

あ…ッ

グワッ…

あ…ッ

グワッ…

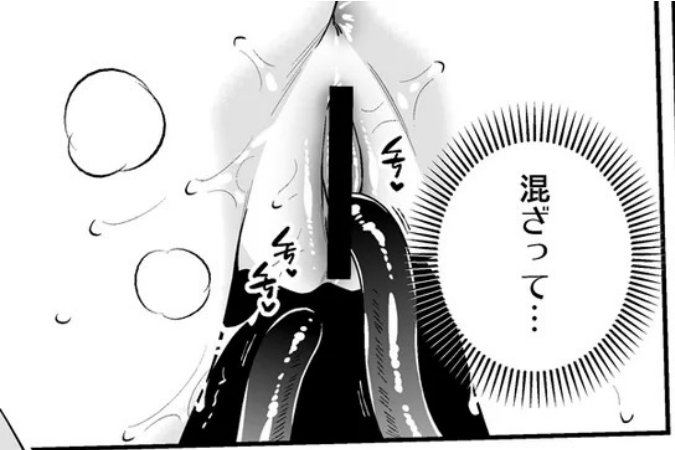
あ…ッ

グワッ…

グワッ…

あ…ッ

グワッ…



私のお乳を飲んだ
まだらちゃんは…

私の子
なのでは…？

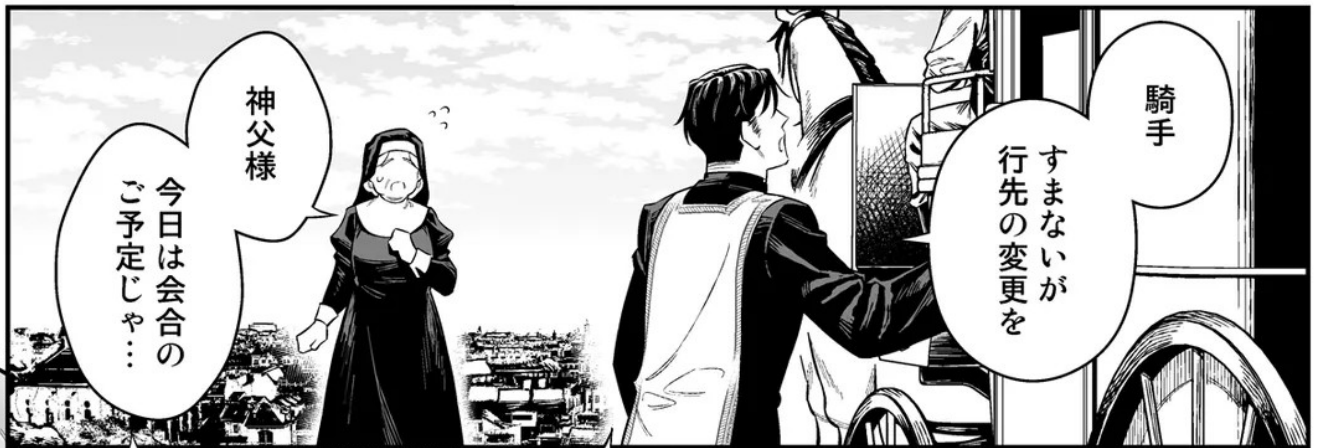
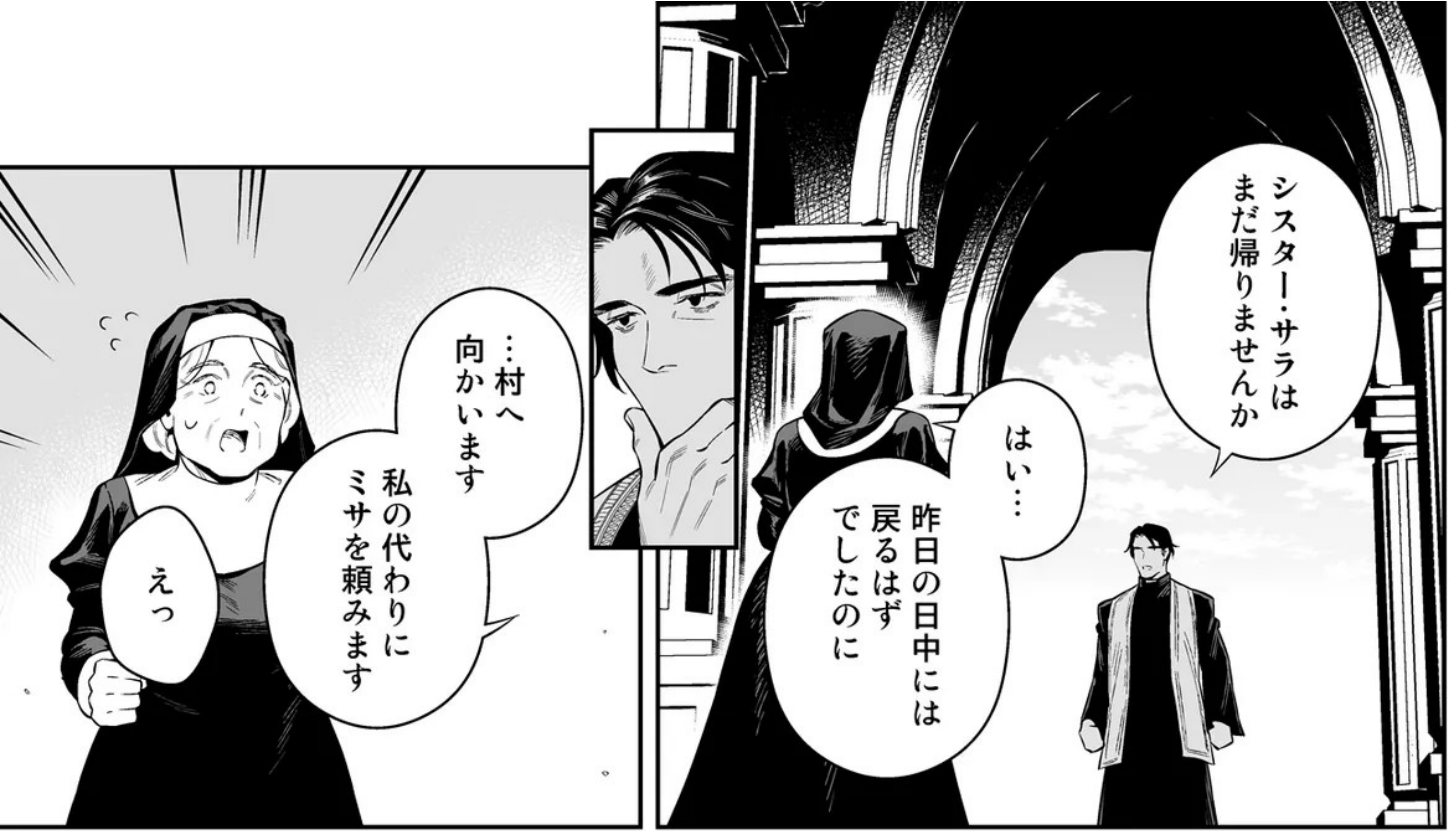
つまり…
私は…

この子の母に
なったのでは…？


これは
姦淫などではなく

尊い愛の行為なのでは







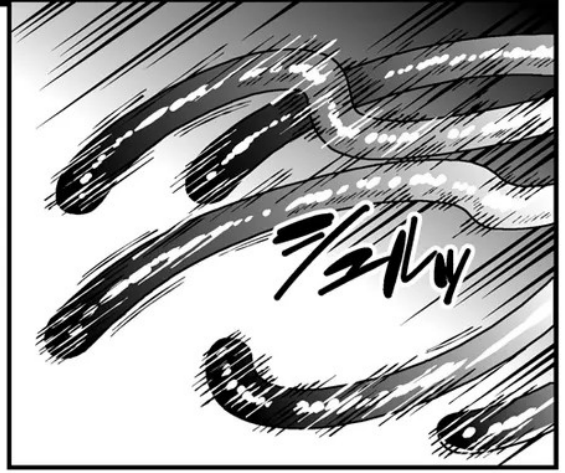


私の帰りを
待っている
人がいます

まだらちゃん
…聞いて



心配しないで…
お別れでは
ありません



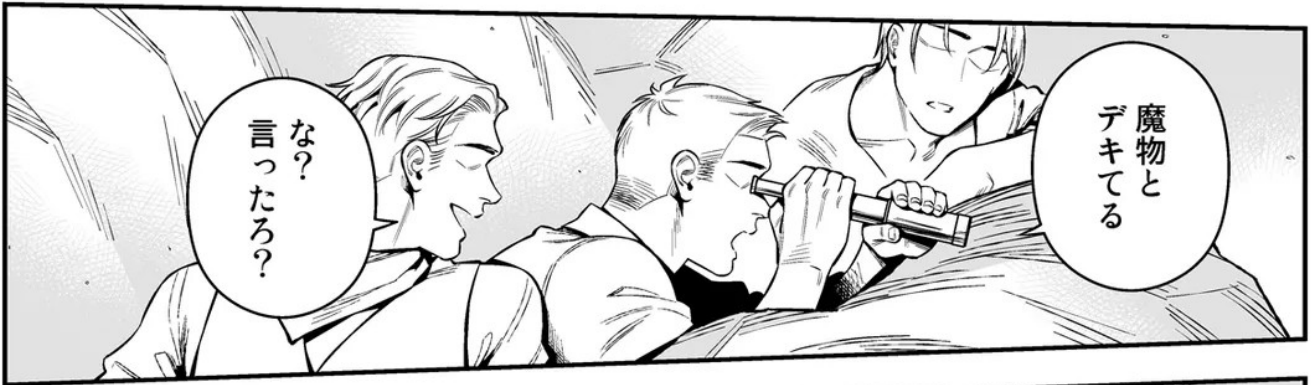
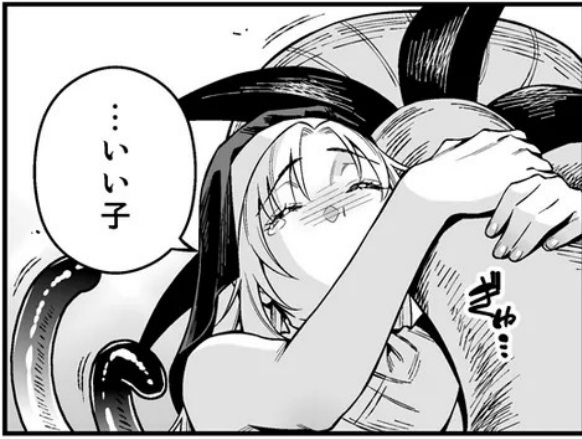
必ず
迎えに来ます
私たちが
家族だもの

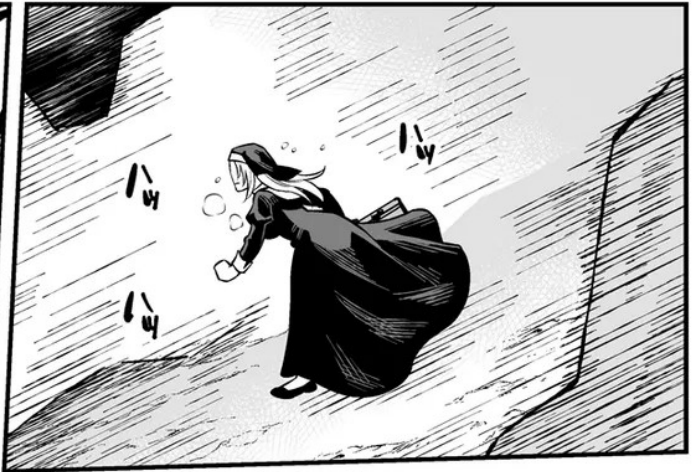
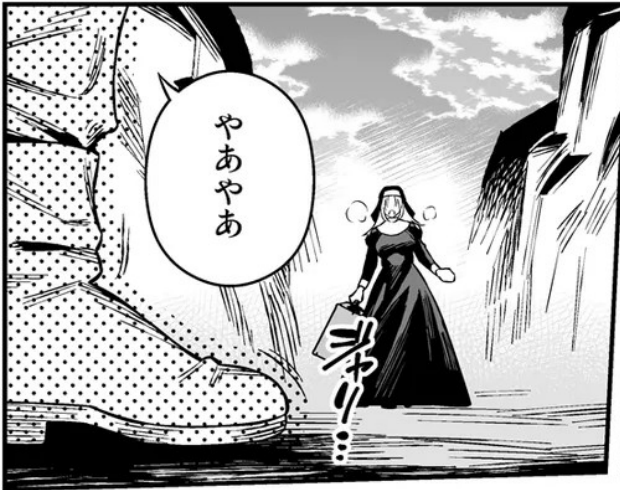


あなたが街で
暮らせるよう
相談してみます

私一人では
難しくても…

知恵を募れば
きっと…







そんな情報は
初耳だ

ギルドは何を
しているんです

い...
いくつかの
拠点を
転々として

足取りが
掴めないとかで...



村の皆も
用心するように！



街へ
引き返す

ギルドに
直談判
しなければ



おっ お金も
貴重品も
持ってません

どうか
離してください

へ...
分かって
ねえな

アンタ自身が
商品なんだよ



この身体なら
もっと似合いの
仕事があるぜ？

魔物なんかより
人間相手に
する方がいいだろ

!?

見られてた
なんて…っ

いッ…
いや…あ…



お!?

なんだく？

シスターのくせに
母乳が出んのか

おいおい
禁欲を説きながら
ガキ作ってんのかよ

ちがいます…

もう…
やめて…え…







ゴゴゴゴ...

なッ...!?

なんだ
今のは!?



おふッ...!!!

ズルッ...



まだら
ちゃんだ



ぐあッ...!!!

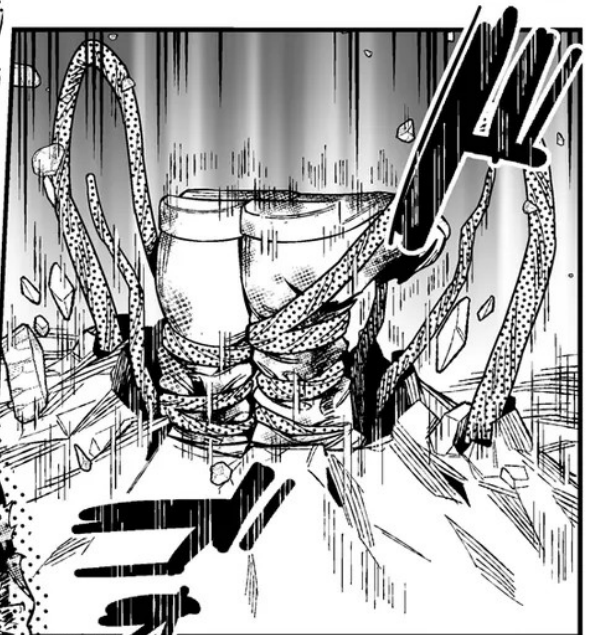


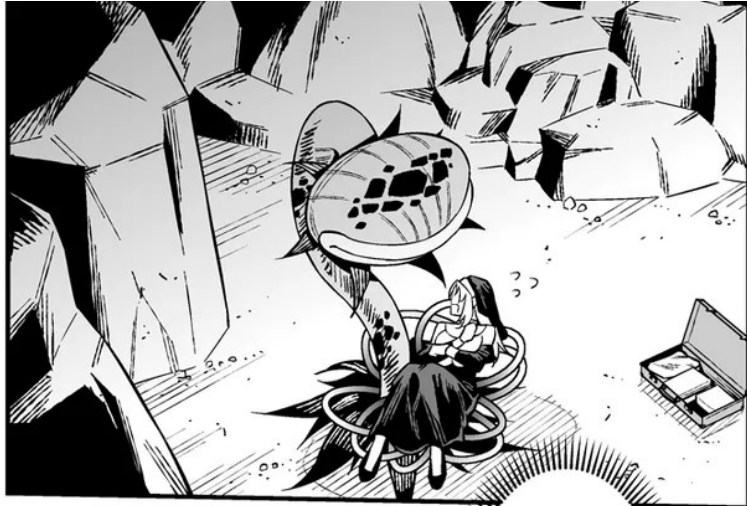
ばかッ
大声を
出すな...!

いッ...

てめえが
指示してんのか!?

まさか
さっきの魔物か?





早く…

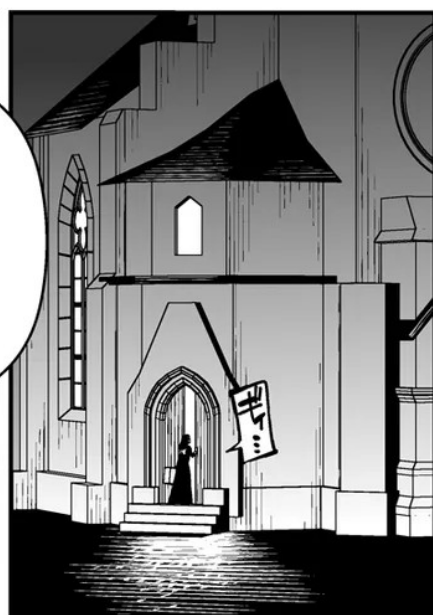
早くここから
離れなくては…!!



神父様…

ずいぶん
遅かったでは
ないですか

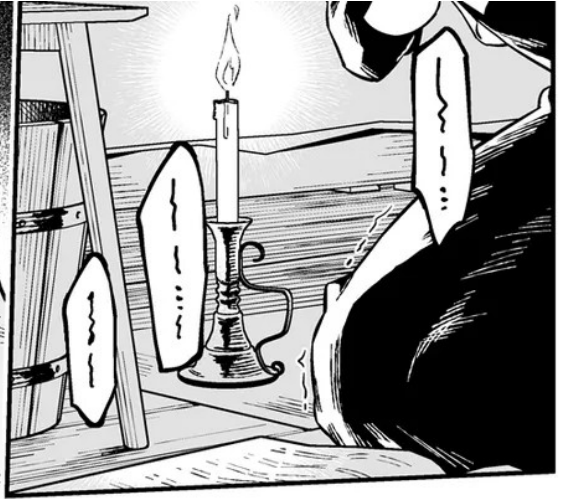
シスター・サラ…!?





すみません
疲れているので
失礼します





忘れなきや...
いけないの...
忘れなきや...
忘れなきや...

忘れなきや...

神父様!?

ここは
女子寮なのに

部屋の明かりが
見えました

まだ
起きていますね?
シスター・サラ

何か心に
抱えているものが
あるようですが...

よければ告解室で
私にすべて
話してみませんか

もちろん
秘密は守ります

告解室...



なかなか寝付けないだけで…



…体が…その…
火照ってしまった

急いで帰ってきたから…



いえ…
そんな
神父様にお話しするほどのことではありません



…そうですか



いい夢を
シスター・サラ



落ちて着けるよう温かい飲み物を用意しました
これだけでも受け取ってください



ここに居るのを
誰かに見られたら

神父様でも
咎められて
しまうのに…



もういない…

ゼイ…



…今日の

まだらちゃんとの
"あれ"は



…おいしい

甘くて
とてもいい香り

よほど心配させて
しまったんですね…



…とうとうものでしょう…

姦淫

神の教えにおいて
姦淫は大罪です…

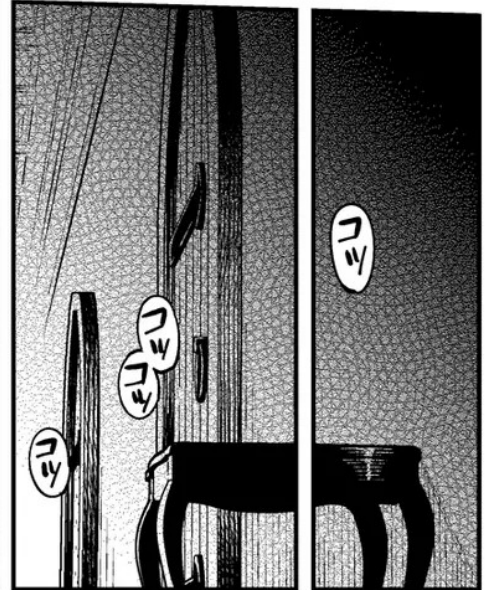
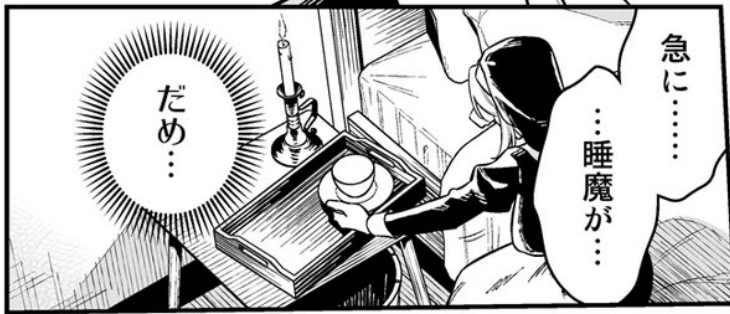
まだらちゃんが
食事のつもり
だったとしても…

私にとっては…

ワグン

ワグン

ワグン







しかし
神父として…
また養父として

あなたの全てを
把握しておきたい

ギョッ

ギョッ



…初めて私に
嘘をつきましたね

サラ

あなたも
大人になったという
ことでしょうか…



隅々まで
検^{もた}めていきますよ



これは…

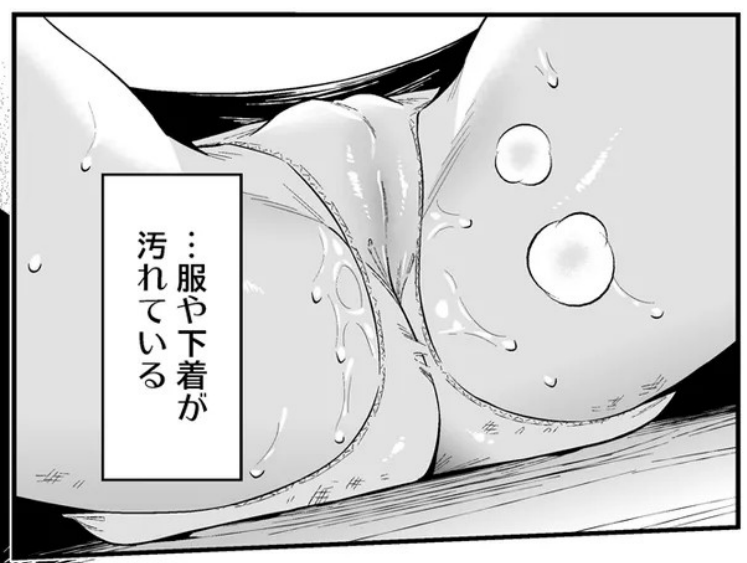
…!



暴漢に
襲われたか…?

包み隠さず
話してくれたら
よかったのに…

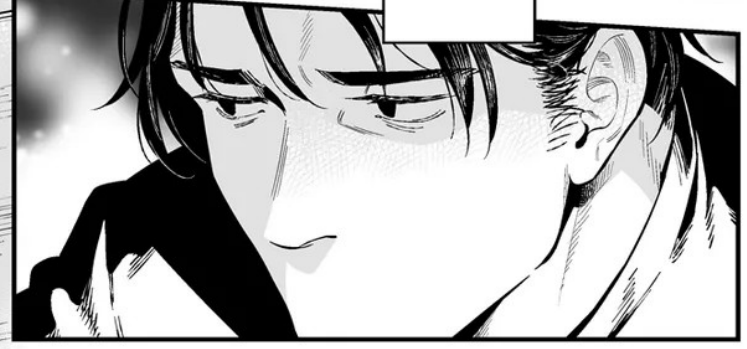
やはり一人で
行かせるべきでは
なかった



…服や下着が
汚れている



体には
擦り傷もある…









はっ...はっ...はっ

はっ...はっ...はっ

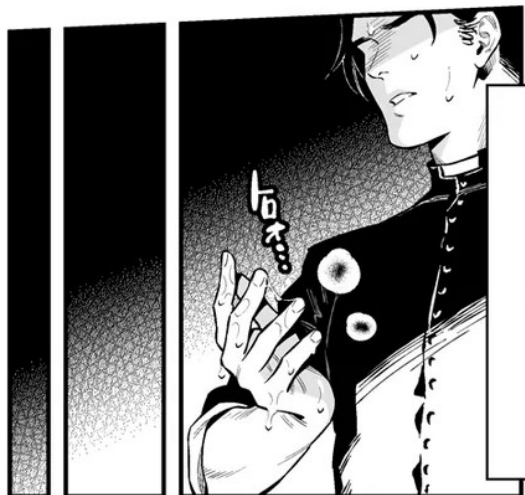
はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



私の知っているサラはどこにもいない...

...もう



はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

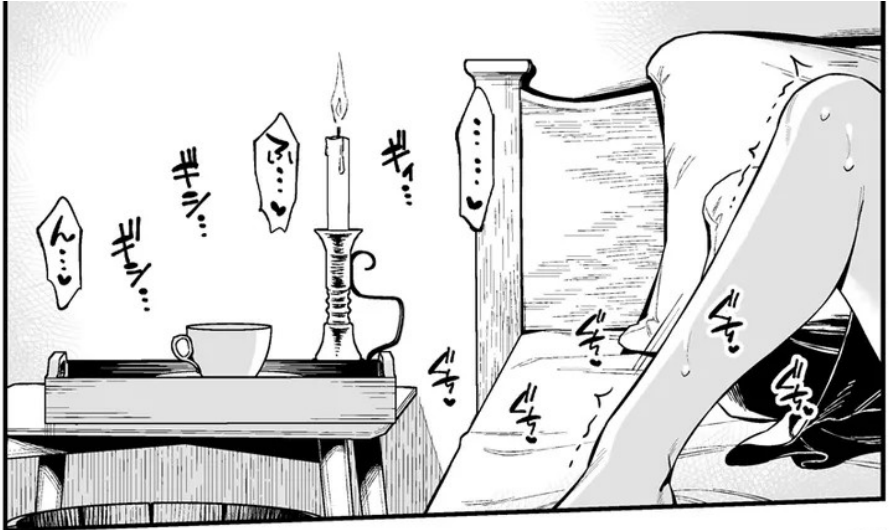
はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



どうしようもなく
どす黒い感情に
塗り潰されそうになる



今すぐ
屠つてやりたい...



サヲを手籠めに
するよな外道に

救いなど
ありはしない

きゅんきゅん



神よ…

どうして
このような試練を
与えるのですか



この身を
切る思いも
報われないのなら



本懐を遂げて
しまおうか



いっそ
聖職者である
ことなど忘れて

ただの
男と女になって



はーはーはー
だめだ…
それだけは…

はーはーはー
私まで外道に
身を落としてしまう…

…いや……
薬を盛ってまで
姦淫してる私も

同じ穴の貉だ

